

# Urban Innovation TOMIYA

スタートアップと行政職員が協働する、新たな地域課題解決プロジェクト



2022/10/28

オンライン説明会

9:30～スタートします。

# 本日の流れ

コンテンツ	時間
富谷市の紹介とOIT実施の背景	9:30～9:35
OIT・Urban Innovation TOMIYAの流れ 事務局	9:35～9:40
各課自己紹介(各課30秒)	9:40～9:45
ブレイクアウトルーム 各担当課より説明 & 質疑応答	9:45～10:30
よくあるQ&Aの紹介、全体QA	10:30～10:40
クロージング	10:40～10:45



# 募集テーマ

テーマ	担当部署
働き盛り世代1人1人に健康行動を促す仕組みを作りたい！	健康推進課
市民のニーズを把握し、農福連携も兼ねた、新しい市民農園を開設したい！	農林振興課
地域学習を探究型学習につなげる、デジタル社会科副読本を作りたい！	学校教育課





働き盛り世代1人1人に健康行動を促す仕組みを作りたい！（健康推進課）

働き盛り世代1人1人に  
健康行動を促す仕組みを作りたい！

富谷市保健福祉部健康推進課



# 1.実現したい未来

## 健康推進課の役割

特定健診の担当課であり、子どもから高齢者までの、市民の健康づくりを支え、健康管理を促す役割を担っています

## 目指すもの

・富谷市総合計画が目指す将来像である「住みたくなるまち日本一 ～100年間ひとが増え続けるまち 村から町へ 町から市へ～」を踏まえながら、富谷市健康推進計画は、生涯にわたり市民一人ひとりが健康に過ごすことを目指し

基本理念・基本目標を

**「あらゆる世代が元気に暮らす健康自慢 のまちづくり～健康寿命の延伸～」**  
としています



## 2.解決したい課題

---

しかし・・・

特定健診の受診率が高いものの、健診の結果、メタボ該当者および予備群の数や、有所見者率が平均よりも高く年々増加傾向となっております

- 👉メタボ該当者＋予備群は全国2位の宮城県を上回る値...
- 👉特に血糖値(HbA1c)の有所見者は特定健診受診者の8割を超える値...
- 👉有所見となっても、未治療のままの方も県や国平均よりも高い値...
- 👉運動教室等を開催しても、働き盛り世代の参加はほぼなく...  
(時間が取れない、興味がない、結果をみていない、優先度が低い)
- 👉きっかけとして参加はするものの継続って難しい...



### 3. 今回やりたいこと

働き盛り世代向けに、自分の健康(HbA1c)に意識を向けて、自分にできる健康行動(生活改善)を始める、それを継続できる(背中を押してくれる)仕組みの検証をしたいと考えています

血糖値(HbA1c)は、すぐに結果が出るもの・目に見えるものではありませんし、目指すゴールもそれぞれ。

**行動** の積み重ねが **習慣** へ…十年、二十年先の健康なからだへ

★活用事業の一例 50代からだメンテナンス

11月下旬:採血検査  
(栄養or運動講話)  
12月:結果送付



自身での生活改善



2月下旬:再採血検査  
改善者にインセンティブ



The image shows two men in light blue short-sleeved shirts and trousers, with white towels draped over their shoulders. They are standing in a garden area with purple flowers in the foreground. The man on the left is wearing glasses and is leaning forward, holding a wooden-handled tool. The man on the right is standing upright, also holding a wooden-handled tool. In the background, there is a modern building with a curved facade, large windows, and brickwork. The sky is clear and blue.

市民のニーズを把握し、農福連携も兼ねた、新しい市民農園を開設したい！  
（農林振興課）

# 市民のニーズを把握し 新しい市民農園を開設したい！

富谷市 経済産業部 農林振興課



# 1.実現したい未来

---

## 【現状】

市の事業の一環として、市民が野菜作りを体験できる「レクリエーション農園」という農園が市内に25箇所あるが、利用者の高齢化が進んだり、新たに利用を始めた方々においては野菜の作り方が分からずに辞めてしまうなど、利用者が減少している。

## 【目指す市民農園】

現行の「レクリエーション農園」にはない、充実した設備を備えた市民が利用しやすい市民農園を目指しながら、農業と福祉が連携した農福連携の取り組みを交えた市民農園を開設したい。



## 2.解決したい課題

### 【市民が求める市民農園】

現行の「レクリエーション農園」には、農機具等は完備されていないため、個人で準備をする必要がある。また、休憩所やお手洗い等の施設も備えていないため、利用者の負担は大きい。

(課題)実際に市民が求める市民農園はどんなものだろうか。

### 【福祉との連携】

障がい者が野菜作りに触れることにより、農業への関心が高まり、農業に興味を持つことで就業等のきっかけとなる場として期待が持てる。また、市民と障がい者が交流することにより、市民が障がい者に対する理解を深める場となり、また、障がい者にとっても市民と交流することにより、症状の緩和や就業への手助けになれるような場として期待が持てる。

(課題)障がい者が農業に関心をもつのか。市民と障がい者の交流は相乗効果を生むのか。



## 3. 今回やりたいこと

---

### 【市民が求める市民農園】

市民が求める市民農園を開設するために、市民へのニーズ調査を実施

### 【福祉との連携】

市民が求める市民農園のニーズ調査の結果、市民農園で収穫した野菜を使ったイベント等の需要があると想定されるため、福祉の観点から障がい者を交えた芋煮会等のイベントを現行の「レクリエーション農園」にて行い、農業と福祉で関わりが持てる市民農園開設への可能性を検証する。





地域学習を探究型学習につなげる、デジタル社会科副読本を作りたい！  
(学校教育課)



地域学習を探究型学習につなげる、  
デジタル社会科副読本を作りたい！

富谷市・学校教育課



# 1.実現したい未来

---

## 【現状】

➤ 小学校3年生において地域学習のために、社会科副読本を作成している

## 【ただし…】

➤ 最新情報が掲載できていない

➤ 探求的学習の観点からみると工夫・改善の必要がある



## 2.課題に対する考え

---

- ・子どもたちが学びやすい教育ツールになっていないのではないか
  - 富谷の豊富な地域素材を掲載したい
- ・知識が広がりづらく、深く学ぶ教材にはなっていないのではないか
  - 主体的・対話的な探求型学習につなげたい



# 3. 今回やりたいこと

---

## 【令和4年度】

- 教育ツールのプロトタイプを作成(1~2テーマ)
- 実際に授業の中で教職員に使用してもらい、授業者や子供たちの「生の声」からブラッシュアップをし、再度授業で検証(市内小学校からモデル校対象に実施)

## 【最終的には】

- 社会科副読本を、郷土により興味を持てる、かつ、探究型学習につながるような教育ツールにしたい
- 社会科だけでなく、他教科でも活用



# お問い合わせ

詳しい募集要項はホームページをご覧ください。

ご質問は以下の事務局メールアドレスまでご連絡ください。※担当課への直接のお問合せはご遠慮ください。

連絡先

Urban Innovation TOMIYA事務局 / Urban Innovation JAPAN事務局  
[urban\\_innovation\\_japan@communitylink.jp](mailto:urban_innovation_japan@communitylink.jp)



# よくある質問

Q. 実証支援金を超える費用がかかった場合は請求できますか？

A. 今年度の実証にかかる費用でお支払いできるのは、課題1件あたり30万円(税込み)上限となっています。超過する部分については、ご負担をお願いします。

Q. 提案前にもう一度担当部署と話したいのですが。

A. 提案前に個別に担当部署と面談することはできません。今日の時間内にぜひご確認ください。審査の中で担当課と面談の機会がございますので、その際に詳細なすり合わせが可能ですので、まずはご提案いただけますと幸いです。また、最終審査前に提案書の更新も可能です。



---

皆さまのご応募をお待ちしております！

